



# しもよねだ



No. 3

学校の教育目標 かしくく(よく考える子) あたたく(思いやりのある子) たくましく生きる子(強い体の子) 令和5年5月31日

学徳高き<津田左右吉博士>のふるさと下米田で、**健やかに育つ子ら!**

## 前を向く 未来を描く

校長 佐藤 亜紀

「先生、よかったら学校で使ってください。」

地域の方から、ベゴニアの苗をたくさんいただきました。ピンクや赤、白色の花がどんどんと広がっていく光景を想像し、大切にプランターに植えていきました。子どもたちの豊かな感性を育む上で、美しい環境は欠かせません。子どもたちの笑顔を思い浮かべながら植えた職員からも、「綺麗に咲いてくれるといいな。」と楽しみにしている声が聞こえてきました。地域の方の思いに触れると同時に、学校を支えてくださっていることに感謝の日々です。



全部で18個のプランターが  
玄関を彩っています。

「子どもたちから毎日元気をもらっています。」

地域の方から、一通の手紙が届きました。ウォーキングを日課にしている方からでした。道ですれ違った時に元気な声で挨拶をする子どもたちに向けて、「元気をもらっています。ありがとう。」「よい未来に繋がっていきます。」という言葉が綴られていました。早速、子どもたちにも地域の方の思いを伝えました。

「皆さん、建設的な意見ばかりで、本当にありがたいですね。」

P.T.A.常任委員会を終えた直後の声です。その日は、6月3日(土)のよなだっ子広場「白山登山」の実施方法を話し合うことが中心となる会議でした。役員の数に限られている中で、200名近くの参加希望者全員が安全で楽しい登山となるよう、グループの組み方や役員配置、緊急事態に備えた対応の確認等、詳細な部分まで熱心な話し合いがなされました。(残念ながら、天候や降雨後の登山道の状況を鑑みて、やむを得ず今回は中止の決定をいたしました。)

「落ち着いた生活ができ、自分たちで考えて動ける素敵な学年です。子どもたちに助けてもらっています。」

ある学年主任の言葉です。学級や学年のルールや約束が子どもたち自身に浸透し、それらの事柄に必然性を感じているからこそ、誰もが守ろうとしているということも伝わります。また、呼び掛けや声掛けには、相手をその気にさせるという前向きな思いが込められており、互いによりよい関係を築いていくための営みが繰り返されています。

周りの人を思う言葉、前向きな考え方が、よりよい未来を築いていく一歩だと教えていただいています。